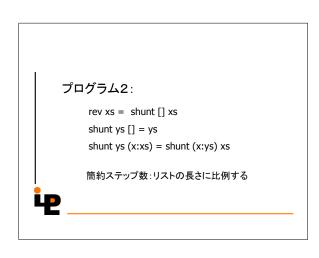
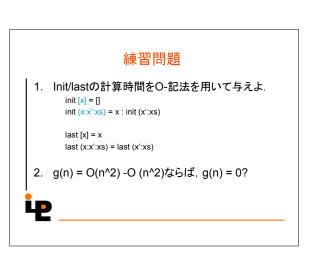


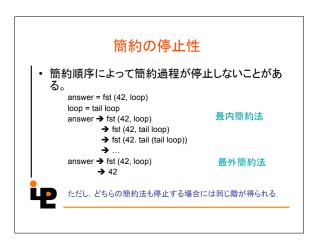
新近的性質 効率の異なるプログラム例 プログラム1(リストを反転させる): reverse [] = [] reverse (x:xs) = reverse xs ++ [x] [] ++ ys = ys (x:xs) ++ ys = x: (xs++ys) 簡約ステップ数:リストの長さの二乗に比例する

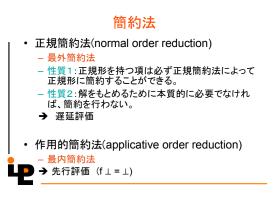


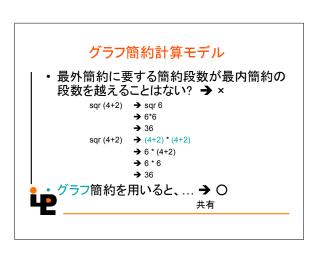
本近的解析 O-記法 g(n) = O(h(n)) ← どの正の数nについても [g(n)] <= M |h(n)] であるような定数Mが存在する 例 T_reverse(x) = O(n^2) T_rev(x) = O(n) ・ T_f(x): f xの計算に要する簡約ステップ数 ・リストxの長さをnとする

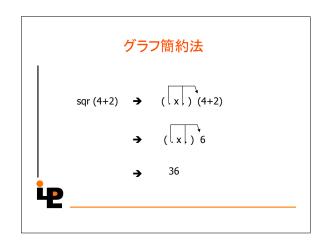


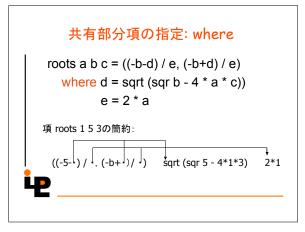












頭部正規形

ときには、式の全体を正規形するのではなく、ある部分項だけを簡約してよい。

head (map sqr [1..7])

- → head (map sqr (1:[2..7]))
 - → head (sqr 1 : map sqr [2..7])
 - → sqr 1
 - → 1*1 → 1
- 定義:簡約項でなく、その部分項のどれを簡約しても簡約項にはならない項は頭部正規形
- **一** 例: e1:e2, (e1, e2)

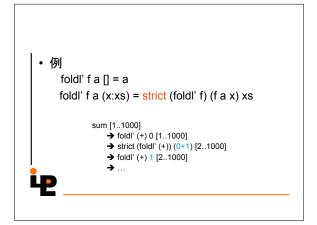
```
簡約順序と所要領域

sum = foldl (+) 0
sum [1..1000]
→ foldl (+) 0 [1..1000]
→ foldl (+) (0+1) [2..1000]
→ foldl (+) (0+1) [2..1000]
→ foldl (+) ((0+1)+2) [3..1000]
→ foldl (+) (....((0+1)+2)+...+1000) []
→ foldl (+) (....((0+1)+2)+...+1000) []
→ soossoo
sum [1..1000]
→ foldl (+) 0 [1..1000]
→ foldl (+) 0 [1..1000]
→ foldl (+) 1 [2..1000]
```

簡約順序の制御

- ・計算モデル:最外簡約
- strictを用いて簡約順序を制御する
 - strict f eの簡約
 - ・まずはじめにeを頭部正規形に簡約する
 - ・次にfを適用する
 - strict sqr (4+2)
- → sqr 6
 - **→** 6*6
 - **→** 36

strict f x = seq x (f x)



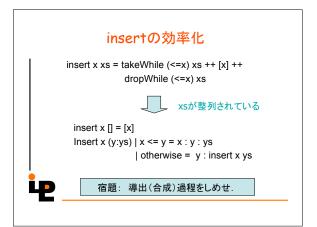
分割統治法

効率のよいアルゴリズムの設計の有用な 方法の一つ

問題Pを幾つかの部分問題(それぞれはPと同類の問題であるが、入力の大きさが小さいもの)に分割し、部分問題の解を集めてもとの問題の解とする手法



整列: 挿入整列法 ・リストを第一要素と残りの部分に分割して処理を行う。 3 1 4 1 5 9 6 2 5 isort = foldr insert [] insert x xs = takeWhile (<=x) xs ++ [x] ++ dropWhile (<=x) xs T_insert(n) = O(n) T_isort(n) = T_insert(0) + T_insert(1) + ... + T_insert(n) = O(n^2)





クイック整列法

・ 複雑な分割+簡単な統合

T_qsort(n) = O(n^2) (平均的に O(n log n))

乗算

n個の数字の列で表現される2つの正の整数x, yの乗算を考える.

 $\begin{aligned} x &= x1 * 10^{n}(n/2) + x0 \\ y &= y1 * 10^{n}(n/2) + y0 \\ x * y &= z2 * 10^{n} + z1 * 10^{n}(n/2) + z0 \\ \text{where } z2 &= x1 * y1 \\ z1 &= x1 * y0 + x0 * y1 \\ z0 &= x0 * y0 \end{aligned}$

nが2のベキであると仮定する.

乗算

n個の数字の列で表現される2つの正の整数x, yの乗算を考える.

 $x = x1 * 10^{(n/2)} + x0$ $y = y1 * 10^{(n/2)} + y0$ $x * y = z2 * 10^{n} + z1 * 10^{(n/2)} + z0$ where z2 = x1 * y1 z1 = (x1+x0) * (y1+y0) - z0 - z2 z0 = x0 * y0

LP

nが2のベキであると仮定する.

二分探索法

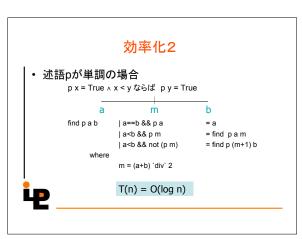
- 問題
 - 整数aと整数bと述語pが与えられたとき、区間 [a..b]内でp xが成立するような最小のxを求める。
- 仕様

find p a b = min [$x \mid x \leftarrow [a..b]$, p x]

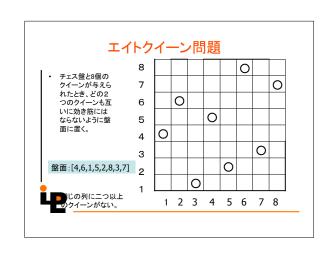
- ・正しい:問題の翻訳
- ・効率が悪い ← b-a+1回のpの計算が必要

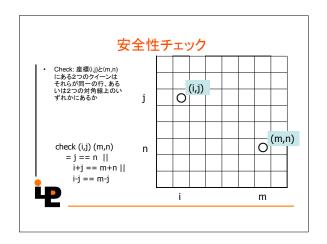


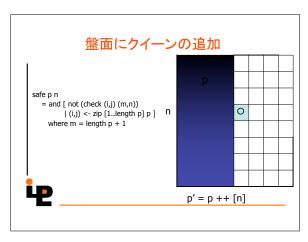


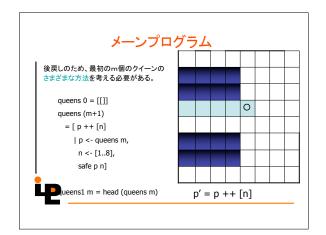


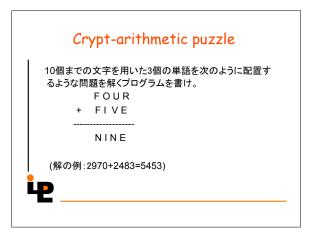
探索と数え上げ ・組合せ論的問題:ある性質を満たす対象の組合せを探す。 ・手法:標準的な手法:逆戻り探索法(成功リストによって実現する手法を紹介する) ・例題: - Eight-queen 問題 - Instant insanity 問題











期末試験

日時: 2月6日場所: 63号室

• 教科書、ノートを持ち込み可

• 内容: 教科書1-7章

来週はアンケートを取ります. ご協力をよろしくお願いします.

Ł